

収穫と味覚の秋 ふるさとまつりで満足満腹



かも谷まつり

とき 11月7日(日)午前10時～午後2時
ところ 加茂町スポーツセンター（雨天決行）
テント村 杵つき餅の実演販売、地元特産品の販売など
イベント MOZ'のバンド演奏、餅投げ、三宅奈緒子コンサート、加茂中学校音楽部演奏など
問い合わせ先 同実行委員会☎42-4402



久米ふるさとまつり

とき 11月14日(日)午前9時30分～午後3時（雨天決行）
ところ 久米総合文化運動公園グラウンド、久米公民館
テント村 農林産物収穫コーナー、町内会による各種屋台村
イベント 水田電子歌謡ショー、クロレンジャーショー、芸能大会、ビンゴゲーム、餅投げなど
問い合わせ先 久米支所市民生活課☎32-7011



勝北ふるさとまつり

とき 11月14日(日)午前9時30分～午後3時30分（雨天決行）
ところ 勝北文化センター、勝北公民館
テント村 勝北の秋の味、特産品など、町内会による各種屋台村
イベント お猿さんのパフォーマンスショー、勝北文化協会によるステージ発表、餅投げなど
 ※餅投げは午後3時30分ごろ実施
問い合わせ先 同実行委員会☎32-7024

勝北秋の文化展

とき 11月13日(土)・14日(日)午前9時～午後5時（14日は午後4時まで）
ところ 勝北文化センター、勝北公民館
内容 地域の児童生徒や施設入所者、勝北文化協会員が制作した作品の展示
問い合わせ先 勝北公民館☎36-2101



津山まつりこぼれ話



将軍の息子も祭りが大好き!

津山まつりを発展させたのは森氏の後に津山を治めた松平氏です。初代・宣富が赤座屋敷（三の丸東側）から祭り見物を楽しんだことから、歴代藩主も祭りの「城内引き入れ」を行なうようになります。天保年間、第8代藩主・斉民は「城内引き入れ」だけでなく自身も祭りに加わりました。この斉民は第11代将軍・家斉の次男の息子ですが、津山松平家に養子として迎えられていました。封建社会では異例ともいえる藩主と町人の身分を超えた交わりは津山まつりの誇るべき歴史だといえるでしょう。



えっ! だんじりを担いだの?

現在は台車を曳く形で出動する津山だんじりですが、県重要有形民俗文化財に指定されているだんじりは神輿のように担ぐことを前提に造られています。現在も、子どもたちが太鼓をたたくために腰掛ける下の柱に担ぎ棒を通す金具が残っているだんじりがあります。明治20年（1887）に造られた勝間田町のだんじりにも同じ金具があることから、そのころまでは担いで出動していたことが分かります。



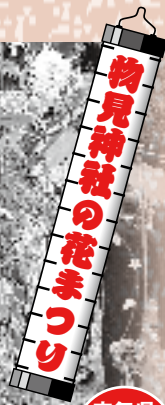
子どもだんじりがあったんだ!

現在はだんじりに多くの子どもが乗っていますが、担いで出動していたころにはどのように祭りに参加していたのでしょうか。文化9年（1813）の記録に「子供仕立大人付添 坪井町」とあることから子ども用のだんじり（神輿太鼓）があったことが分かります。城下の町内には「小だんじり」の部材という現在のだんじりには使用しない部材を保管している町内があります。（情報提供：ホームページ「津山だんじり保存会館」作成者 延原誠さん <http://danjiri-jp.net/>）

東の大隅神社、西の高野神社、総鎮守の徳守神社の秋祭り。今年は大隅神社の大神輿が約170年ぶりに修繕され、18年ぶりに担いで巡幸します。日本三大神輿の一つといわれる徳守神社の大神輿や各町内から出動するだんじりなど見所がいっぱいです。
とき・ところ 10月17日(日)＝大隅神社、24日(日)＝徳守神社・高野神社
問い合わせ先 津山商工会議所☎22・3141



猛暑が続いた今年の津山に暑い熱気が戻ってきます! 勇壮に走り抜けるだんじり、荘厳で迫力ある神輿、激しくぶつけ合う「花」、時代絵巻を思わせる絢爛な時代行列。津山にはこのほかにも地域に根差したさまざまな祭りがあふれています。「ふるさと津山」を感じにちょっと出掛けてみませんか。



氏子が作った高さ約3mの「花」（桜・梅・しだれ柳）を奉納。神事の後、花を持ち帰ると無病息災になるといわれています。
とき 10月24日(日)午前7時～（祭事は午後2時ごろ）
ところ 物見神社（加茂町物見）
問い合わせ先 加茂支所産業課☎32・7034



新野各社から集まる7体の神輿はどれもきらびやかで美しい。勇壮に練り合い、五穀豊穡を祝います。
とき 11月3日(祝)午後3時～午後5時
ところ 新野山形神社
問い合わせ先 勝北支所市民生活課☎32・7023



城東町並保存地区が歩行者天国となり、時代行列や芝居小屋などが催されます。まるでタイムスリップしたような時代絵巻が楽しめます。
とき 11月7日(日)午前10時～午後4時
ところ 城東町並保存地区
問い合わせ先 同実行委員会☎22・3141



隠岐へ配流された後醍醐天皇をイメージした時代行列は太平記の時代を思い起こさせます。ほかに、吹奏楽や踊りの発表、スタンプラリーなどもあり、祭りを盛り上げます。
とき 11月14日(日)午前10時～午後3時（雨天時は21日(日)に順延）
ところ 皿川公園と皿川河川敷
問い合わせ先 佐良山公民館☎28・2543

